

# 新型コロナウイルス感染症の予防接種を受ける方へ

【苫小牧市健康支援課 ☎0144-32-6407】

## 1 新型コロナウイルス感染症について

- 呼吸器感染症のため、発熱、咽頭痛、咳などの症状が中心となります。
- 高齢者での重症化率、致死率は高いとされています。

## 2 新型コロナウイルス感染症予防接種の効果

- 定期接種では、1価のJN.1系統を抗原構成とするワクチンを使用します。（使用するワクチンは各医療機関で選定しております。）
- ワクチン接種によって、新型コロナウイルス感染症の発症予防や重症化（入院）予防の効果があり、いずれの年齢群においても、重症化（入院）予防は発症予防の効果より高いことが確認されています。
- 既感染者であっても再感染する可能性はあり、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることが確認されています。

## 3 新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応

- 重篤な副反応

アナフィラキシーがあらわれることがあり、接種後 30 分はその場で健康観察すること並びに接種後数日の間に胸痛、息切れ、ぐったりするなどの症状があった場合は医療機関の受診が必要となります。

- その他の副反応

接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度または中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められないと判断されています。

### 予防接種救済制度について

- 万が一、定期予防接種が原因で健康被害が発生した場合は、予防接種法に基づく救済制度があります。この救済制度の請求について、厚生労働省が予防接種との因果関係を認定した場合、国の定める医療費、医療手当等の給付を受けることができます。

## 4 新型コロナウイルス感染症予防接種の対象

- **苫小牧市に住民登録があり**、接種日現在で満 65 歳以上の方 または 60～64 歳で、心臓・腎臓・呼吸器機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、身体障害者手帳 1 級をお持ちの方

※接種は、義務ではなく、ご本人が希望する場合のみ行います。接種を受けるご本人が予診票の「予防接種希望書」欄に署名できない場合は、家族やかかりつけ医によって、慎重にご本人の意思確認を行い、接種するか決める必要があります。（意思確認ができない場合は、予防接種法に基づく定期予防接種は実施できません）

## 5 接種を受けることができない方

- 明らかな発熱（37.5℃以上）を呈している方（検温は、接種を行う実施機関で行ってください。）
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- 接種液の成分に対しアナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴がある方（アナフィラキシー、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等）
- その他、予防接種を行うことが不適當な状態にある方

以下の場合、その後、新型コロナウイルス感染症に罹患、あるいは重症化・死亡が発生しても、市及び担当した医師にその責任を求めることはできません。

- 接種医師の説明を十分聞いた上で、ご本人が接種を希望しない場合
- 家族やかかりつけ医の協力を得てもご本人の意思確認ができず接種できなかった場合
- 当日の身体状況等により接種できなかった場合

## 6 接種にあたり注意が必要な方

- 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発達障害等の基礎疾患を有する方
- 接種後2日以内に発熱のみられた方および全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈した方
- 過去にけいれんの既往のある方
- 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれがある方
- 抗凝固療法を受けている方や血小板減少症または凝固障害を有する方

## 7 接種を受けた後の注意事項

- 接種後24時間は副反応（健康状態の変化）の出現に注意し、観察しておく必要があります。特に、接種直後の30分以内は急激な健康状態の変化に注意してください。
- 接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けるよう注意してください。
- 接種後、接種局所の異常反応や体調の変化を訴える場合には、速やかに医師の診察を受けてください。
- 接種当日の入浴は差し支えありません。